

特集
日退教近畿ブロック幹事会 報告
報告
福祉部学習会について
春日大社 第六十次式年造替
フォーラムに参加して
シリーズ
書評コラム
各部の学習会要項
① 健康生活部 ② 人権学習
③ 福祉部

なら高退教だより

奈良県高等学校退職教職員の会
事務局
〒630-8115 奈良市大宮町6丁目1の1
新大宮駅前ビル6階 奈良高教組書記局内
TEL 0742-34-5840
FAX 0742-34-1881

2015年4月1日
発行
第55号

活動報告 1月～3月

一月十三日 「高退教だより」五十四号 発行
県教委・県立高校長・関係団体へ
「高退教だより」五十四号 発送
二〇一四年度高退教会費納入依頼
二〇一五年度高退教会費納入時期変更の
お知らせ発送
二月十六・十七日 日退教近畿ブロック幹事会 京都市
二月二十六日
三月一日 奈互助主催 教職員展 奈良文化会館
三月七日 役員幹事会 県婦人会館
三月下旬 会計決算作業新加入案内準備
高退教だより五十五号編集・印刷

特集I 二〇一五年 日退教 近畿ブロック幹事会の報告

二月十六日～十七日の日程で、日退教近畿ブロック幹事会が、京都の「花のいえ」で行われました。なら高退教からは、上野会長と植田事務局長の二人が参加しました。
始めに門川 順治会長（大阪）の挨拶をうけ、続いて西澤 清日退教会長・木下哲朗教職員相互共催会理事長・朽見誠二教職員共済生活協同組合理事の来賓挨拶後、出席者の自己紹介がありました。
続いて吉田順子事務局長（兵庫）から経過報告が行われました。

- ・日退教定期総会 六月十日
 - ・近畿ブロック代表者会議 六月十一日
 - ・地公三単産・地公退高齢者集会 九月十四日
 - ・全国高齢者集会 九月十五日
 - ・退職教職員近畿ブロック囲碁大会 九月二十六日
 - ・五者合同学習会 十月十六日
 - ・日退教組織活動交流集会 十月十七日
 - ・日退教男女共生委員会 十月十二日
 - ・第二回近畿ブロック代表者会議 十月二十日
 - ・退職教職員全国囲碁大会 十一月二十一日～二十二日
 - ・第四十七回衆議院議員選挙 十二月十四日
- の諸行事の報告がなされ、会計報告並びに監査報告を満場一致で承認がなされました。続いて十五年度活動計画・予算案について提案され満場一致で承認されました。

十五年度の近畿ブロック幹事会は順番により滋賀県で開催されます。同時に二年間、上野会長は近畿ブロック副会長、植田事務局長は副事務局長に選出されました。休憩後、各府県からの取り組み報告があり、なら高退教も他府県と同じく、組織拡大の強化、総会の日程、現役と退職者との協力体制、また退職者として何をすべきかとの悩みを述べておきました。
最後に、被害実態から考える「ヘイト・スピーチ」京都朝鮮学校襲撃事件の取材からの演題で、中村一成氏（ジャーナリスト）からの講演がありました。
夕食交流会では日頃の活動を報告し合いながら一泊し、翌日朝食後解散しました。 植田 茂 記

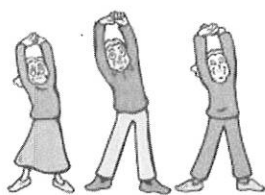
報告 福祉部学習会について

昨年8月9日（土）に予定していました福祉部学習会が、台風十一号の接近により急遽中止となりました。当日、講師をお願いしていました吉田栄子先生、木田浩子先生には、ご準備頂きながら大変申し訳ありませんでした。その時予定していました内容を簡単に紹介させていただきます。

まず、吉田先生には、田原本町で「寝たきりにならないための体操」の指導をされている実技指導をしていただき、その後、永年コーラスで活躍されている木田先生に、歌のご指導をいただく予定でした。先生には、「花は咲く」「アメージング・グレース」「浜辺の歌」等々の楽譜をご準備いただきました。身体と心のリフレッシュを通して健やかな日々を送るための体験学習をしていただくためです。また、いつまでも自立した生活を送るために公的機関が作成した「高齢期からの健康づくり」「生活機能に関する基本チェックリスト」で生活機能をチェックすることも計画していました。

会員の先生方には、日頃から、より良い生活のため、体力維持のため、また社会参加に積極的に取り組まれておられることと思います。これからは「長寿」から「元気で長生き」へ。そして何歳になっても自分らしくいきいきと暮らしていきたいものです。

今年度の福祉部会は介護施設の見学を予定しています。多くの会員の皆様のご参加をお待ちしています。詳細は高退教だよりでご案内いたします。



松岡ユキ 記

各部の学習会 要項 多くの先生方の参加をお待ちしています

- ① 健康生活部
日 時 六月十三日（土） 14:00～16:00
場 所 県婦人会館 研修室
テーマ 「長生きの極意」
申込締切 五月二十三日まで

- ② 人権教育
日 時 七月四日（土） 14:10～16:00
場 所 県婦人会館 研修室
テーマ 「終（つい）の栖（すみか）を求めて」
―― 介護問題を考える ―
申込締切 六月二十日まで

- ③ 福祉部
介護施設の見学
日 時 九月以降で予定
場 所 未定

会場準備の都合もありますので、事前参加申込をお願いいたします。
官製ハガキに学習会名・住所・氏名・連絡先をご記入頂きお申し込みください。

春日大社 第六十次式年造替 記念フォーラムに参加して

本年より本格化する式年造替を記念して「自然との共生」春日の森から未来へ」のテーマのもと、二月七日(土)にグランフロント大阪で開かれたフォーラムに参加しました。現在に生きる私達が、今一度、自然を感じ直し、自然との共生を考えるフォーラムでした。春日の信仰や日本人の自然との付き合い方などについて、春日大社 花山院弘匡宮司の基調提案、アニメーション映画監督 高島勲氏、建築家 栗生明氏、民俗学者 赤坂憲雄氏によるパネルディスカッションが行われました。

・二十年に一度社殿を造り替える式年造替は、人から人へぬくもりや熱意を伝えるシステムであり、バトンタッチの最も良い形である。

・春日の森の存在は日本人にとってうれしいことで、悠久のものである。

・里山のように人が使い続けながら循環していく、自然と人間との関係や命の循環が大切である。

・自然の中に溶け込む生活が大切である等。



ラーの方々のお話はとても印象深く、自分の生活を見直す良い機会となりました。式年造替に関わる特別公開として、通常非公開の「御本殿特別公開」(四月～五月)や禁足地の山頂で特別参拝できる「本宮神社特別参拝」(七月～八月)が行われます。是非とも参加したいと思っています。

古川 和子 記

シリーズ 書評コラム

宮尾作品に思うこと

中井 和子

同性である為か私が読んだ作品は女性の主人公が多かった。『女の一生』から始まり『アンナ・カレーニナ』『風と共に去りぬ』等スタンダードな作品の中で、けなげで美しくそして芯の強い主人公に憧れた。

昨年の暮れに宮尾登美子さんが亡くなられたが、多くの作品で女性の一生を描いておられる。直木賞作家である宮尾さんの作品は、『鬼龍院花子の一生』『蔵』『権』『陽暉楼』『一弦の琴』『序の舞』『天璋院篤姫』等映画化やドラマ化された作品も多く、私の出会いもテレビで見た「序の舞」だった。モデルの女性は上村松園、その生き方に衝撃を受けた。後に奈良市に松柏美術館が開設されたとき、その美しい画に二重の喜びを感じたものだ。作品に出てくる女性では、『蔵』の義兄とその娘に献身的に尽くす佐穂の謙虚で美しい生き方よりも、酒蔵を継ぐ責任と純粋な愛を全うしようとする娘烈の懸命さが好きである。

宮尾さんは土佐高知の生まれ、作品が評価されるまで言えな

かったそうだが、家は芸妓紹介業を営んでいた。女衞(ぜげん)と呼ばれる。『権』『陽暉楼』『寒椿』などには稼業にまつわる話が多く著され、舞台は花柳界、女衞の男をめぐる女たちの物語となっている。私には全く与り知らない世界のことだが、私たちの生き方に共感できるものがある。『権』では、夫を愛し理解しようとするが、夫の身勝手さに最後は反発し、夫と別れ自立しようとする妻、喜和の強さに強く惹かれた。

ところで、時代物でいつも思うことは女性の地位の低さだ。夫は妻の人格を無視し勝手に愛人を作る。妻は怒りや悲しみを夫にぶつきたいが、妻という「もの」である限り文句も言えない。男尊女卑の世の中で、女性の社会的地位は全く無い。唯一教育が身を助けてくれるが、教育を受けられる女性が当時どれ程いただろうか。そして、もう一つ思うことは貧困と差別である。貧困の為に一家は娘を売らなければならない。売られた娘は人格を無視され、悲壮な人生を歩まなくてはいけない。愛する人ができ子どもができて結婚することはおろか、別れさせられてしまう。貧しい女性ほどそれほど悲惨な人生を送らねばならないのか。小説と言えども強ち嘘ではない。現代に生きていて本当に良かったと思ってしまう。今日のように女性の人権が確保され教育が保障され地位が向上するまでに、幾多の苦渋と努力と闘いがあっただろう。私たちはそのおかげで幸せに生きていける。感謝の念に堪えない。そしてこの幸せを維持していく為に今後社会で私に何ができるのか、考えてゆきたいと思うのである。



活動予定 | 4月～8月

- 四月初旬 高退教だより五十五号 発行
- 二〇一五年度高退教会費納入依頼
- ※二〇一五年度は総会を五月に開催することにより四月一日発行の五十五号で納入依頼を行います
- 四月六日 会計監査 都祁公民館
- 五月二十三日 新会員歓迎会 春日野荘
- 六月九日 日退教総会 日本教育会館
- 六月十三日 健康生活部学習会 県婦人会館
- 六月二十二日 高教組定期大会 やまと郡山城ホール
- 六月二十三日 人権小委員会 天理市役所
- 七月四日 人権学習会 県婦人会館
- 八月八日 第二回役員・幹事会 県婦人会館
- 八月下旬 高退教だより五十六号 編集・印刷 県婦人会館

お知らせ

総会の開催について
五月二十三日(土) 十五時三十分から春日野荘にて本年度総会を開催致します。多くの会員の皆様の参加をお待ちしています。

原稿募集

会員の皆様に高退教だよりの原稿を募集いたします。近況や退職後新たに取組まれた事など、会員の皆様に広くお伝えできると考えますので事務局までお知らせください。

原稿用紙にご記入いただき事務局まで郵送ください。多くのご応募をお待ちしています。